福祉医療費・返戻等発生報告書　記載例

福祉医療費・返戻等差額発生報告書で報告するもの

・減点等により本体保険点数が増減し、患者の自己負担部分について
　実際に調整した場合
・保険資格や福祉医療受給が喪失している場合

市町村毎に別葉で作成。提出先は、奈良県国民健康保険団体連合会
『自己負担額支払明細書』はデータ化され市町村に提供されるが、『福祉医療費・返戻等差額発生報告書』は原票（紙ベース）が市町村に提供される

福祉医療費・返戻等差額発生報告書

○○市（町村）長　　殿

医療機関所在地　奈良市登大路町＊＊
名称　　※※病院
開設者
電話　　074

下記のとおり報告します

作成日（送付日）を記載

令和６年　７月１０日

医科は１、歯科は３、調剤は４、柔整は９、訪問看護は６の該当番号を○で囲む

表別						機関コード
医	(1)	調	4	訪	6	０１０９９９９
歯	3	柔	9			

発生理由を簡潔に記載

整理No	《受給者資格に関する基本情報》 公費負担者番号	受給者番号	氏名	（前回送付の診療情報等） 診療年月 年	月	入外区分 入	外	合計点数	自己負担支払額	差額発生後の診療情報等 合計点数	自己負担支払累計額	自己負担支払額の差額	備考（発生理由等）
1	7 1 2 9 0 7 6 1	6 8 5 0 0 1 0	耳成佐助	4 3	1 0 2	1	(2)	186	560	155	470	△ 90	減点
2									①		②	②－①	
3	9 1 2 9 0 5 8 5	6 7 5 9 6 7 4	三笠一郎	5 0	1 0 5	1	(2)	552	1,650	952	2,860	1,210	窓口での保険点数計算ミス
4													
5	7 1 2 9 0 7 6 1	6 8 5 0 0 1 0	耳成佐助	4 3	1 0 1	1	(2)	2,854	5,710	0	0	△ 5,710	保険外診療
6													
7	7 1 2 9 0 5 4 8	7 2 3 7 6 2 1	春日花子	4 3	1 0 1	1	(2)	27,451	54,900	0	0	△ 54,900	受給資格が喪失していたため
8													
9	8 1 2 9 0 6 7 7	8 0 0 2 0 7 3	奈良次郎	4 3	1 0 2	(1)	2	33,648	100,940	33,648	100,940	0	受給者番号の誤報告 前回8003204
10													
11	7 1 2 9 0 6 7 7	8 0 0 2 0 7 4	奈良太郎	4 3	0 0 2	1	(2)	2,800	8,400	2,800	6,000	△2400	スポーツ共済

本来は市町村毎に別様で作成
同一市町村であれば順不同で可

診療年月の元号は次の区分で表記
平成4　令和5

マイナスの場合、後日助成金の返還が行われる（今後交付される助成金との相殺による対応の可能性もあり）

プラスの場合、後日助成金が追加交付される

福祉医療は保険の自己負担を助成する制度であるためゼロに修正。窓口での調整がなくとも報告が必要

福祉医療受給者の保険診療ではないためゼロに修正。窓口での調整がなくとも報告が必要

既に報告済みの『自己負担額支払明細書』に計上した情報を記載

窓口調整後の情報を記載

スポーツ共済の給付申請にかかる「医療等の状況」等に記入した場合は、福祉医療の対象外となるため
「医療等の状況」等に記入した診療報酬点数を控除した自己負担額に修正。

①この報告書は奈良県国民健康保険団体連合会に提出すること。
②表別欄医科は１、歯科は３、調剤は４、柔整は９、訪問看護は６の該当番号を○で囲
③報告書が２枚以上にわたる場合はNoを記入し、２枚目以降も捺印する。
④「診療年月」欄は、元号を次の区分で表記してはじめる。（平成:4, 令和:5）
⑤入外区分欄は入院は１、入院外は２を○で囲む。
⑥「前回送付の診療情報等」欄は、以前に国保連合会に提出した内容を転記すること。
⑦「差額発生後の診療情報等」欄は、返戻等により変動したレセプト点数と自己負担支払額の累計額を記載すること。
⑧「自己負担支払額の差額」欄（太枠）は、自己負担支払額について、実際に医療機関等の窓口で、受給者との間で生じた支払い差額について記載すること。